ケイベース提供の支援プログラム内容とそのねらい

5領域項目	ねらい		支援内容	歩行訓練	モンッテソリー	公文	食育	いけばな	SST	音楽	運動療育	その他手段
				歩行訓練は運動系脳への刺激だけでなく、支援に入る準備としてセラトニンの分泌を促し、支援がより効果的な脳への刺激になG4:P4る効果を見込む ・基礎体力強化 ・発達全般への刺激	各種モンッテソリー教材を使用し、遊びや、楽しさを感じながら、自身で集中して作業をしていく。 机上訓練でも使用する。 ・微細運動 ・感覚運動 ・認知・理解強化 ・学習支援	・学習支援 ・学習士台作り ・自己肯定感醸成 ・鉛筆等の使い方矯正 ・微細運動 ・姿勢維持 ・集中力・持続力 ・認知・行動	・食に興味を持たせる ・食欲への刺激 ・感覚育成 ・ワーキングメモリー向上 ・咀嚼、嚥下の指導 ・微細運動 ・マナー、生活習慣の習得	・情緒醸成 ・感覚育成 ・視覚・空間認知 ・道具使用による微細運動 ・姿勢維持 ・コミュニケーション能力 ・模倣行動 ・集団活動への参加	社会性へ醸成訓練 道徳・感情の理解と行動 コミュニケーション能力の向上	・感覚への刺激 ・認知・行動への刺激 ・ワーキングメモリー向上 ・リズムと運動 ・コミュニケーションと表現 ・認知・記憶能力への刺激 ・ストレス緩和とリラクゼーション	エビカニ体操やリトミックのように、運動と記憶を合わせた療育。 運動系脳に刺激を与えるとともに、強化が必要な筋力等を見極め、支援にあたる	
（ア）健康・生活	(a)健康状態の維持 (b)健康状態の維持 (c)基本的生活スキルの獲得	①健康状態の把握	健康状態の常なるチェックと対応 小さなサインから異変に気付くきめ細やかな観察	○			○				○	・通所毎に、支援による、チェックの実施・記録
		②健康の増進	睡眠・食事・排泄等の基本生活のリズムの獲得 楽しく食事ができる 咀嚼・嚥下の観察 姿勢保持 病気への予防・安全への配慮				○					・保護者との情報共有、および家族支援等の実施
		③リハビリテーションの実施	日常生活・社会生活を営めるよう、身体的・精神的・社会的訓練の実施	○	○		○	○	○			
		④基本的生活スキルの獲得	身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能の獲得を支援									・通所毎の身の回り訓練の実施、手洗い・うがい等、自身の洋服やカバンなどの管理支援
		⑤構造化等により生活環境を整える	様々な遊びを通して学習できる様、環境整備 時間や空間を本人に分かり易くする構造化		○	○					○	

5領域項目	ねらい		支援内容	歩行訓練	モンッテソリー	公文	食育	いけばな	SST	音楽	運動療育	その他手段
（イ）運動・感覚	(a)姿勢と運動・動作の向上 (b)姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 (c)保有する感覚的の総合的な活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	姿勢保持・上肢（手・腕）下肢（足）の運動・動作改善および習得	○	○	○		○			○	
			関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化	○	○						○	・作業療法士による専門的アドバイスと専門的支援の実施
		②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	姿勢維持や各種の運動・動作が困難な場合の補助器具等を活用した支援	○	○	○		○		○	○	
		③身体の移動能力の向上	自力歩行、歩行器や車いす等の移動能力向上の支援									
		④保有する感覚の活用	遊びを通した、視覚・聴覚・触覚への支援		○		○	○		○	○	
		⑤感覚の補助及び代行手段の活用	眼鏡や補聴器等の各種補助器具を活用できるよう支援									
		⑥感覚の特性（聴覚の過敏や鈍麻）への対応	感覚の偏りに対する環境整備等による支援									

5領域項目	ねらい		支援内容	歩行訓練	モンッテソリー	公文	食育	いけばな	SST	音楽	運動療育	その他手段
（ウ）認知・行動	(a)認知の発達と行動の習得 (b)空間・時間・数等の概念形成の習得 (c)対象や外部環境の適切な認知と行動の週間	①感覚や認知の活用	視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援	○	○	○	○	○		○		
		②知覚から行動への認知過程の発達	環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげる一連の認知過程の発達支援	○		○	○	○	○	○		
		③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図り、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援		○	○	○	○				
		④数量・大小・色等の習得	数量・形の大きさ、重さ、色の違い等の習得支援		○	○	○	○				
		⑤認知の偏りへの対応	自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援	○					○	○		
			こだわりや偏食に対する支援				○					
		⑥行動障害への予防及び対応	感覚や認知の偏り、コミュニケーション難から生まれる行動障害の予防および適切行動への対応支援	○						○		

5領域項目	ねらい		支援内容	歩行訓練	モンッテソリー	公文	食育	いけばな	SST	音楽	運動療育	その他手段
（エ）言語・コミュニケーション	(a)言語の形成と活用 (b)言語の受容および表出 (c)コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d)コミュニケーション手段の選択と活用	①言語の形成と活用	具体的な物事・体験と言葉の意味を結び付け、体系的な言葉の習得・自発的な発声を促す支援			○	○	○	○	○		
		②受容言語と表出言語の支援	話し言葉や各種の文字・記号等を用いての言語の受容と表出の支援		○		○	○	○	○		
		③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	場面における人との相互作用を通じて、 共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力向上支援	○			○	○	○	○	○	
		④指差し、身振り、サイン等の活用	指差し、サイン等の活用による環境理解と意思疎通の支援						○			
		⑤読み書き能力の向上支援	障がいの特性に合わせた読み書き能力向上支援		○	○						
		⑥コミュニケーション機器・教材の活用	各種の文字・記号・絵カード、機器等を適切に選択、活用し、環境の理解と意思疎通の支援		○	○				○		
		⑦手話・点字・音声・文字等のコミュニケーション手段の活用	手話、点字、音声、文字、触覚等の手段を活用し環境の理解と意思疎通の支援									

5領域項目	ねらい		支援内容	歩行訓練	モンッテソリー	公文	食育	いけばな	SST	音楽	運動療育	その他手段
（オ）人間関係・社会性	(a)他者との関わり（人間関係）の形成 (b)自己理解と行動の調整 (c)仲間づくりと集団への参加	①アタッチメント（愛着行動）の形成	身近な人と親密な関係を築きその信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成する支援				○	○		○		
		②模倣行動の支援	遊び等を通じて人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援		○		○	○		○		
		③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援	感覚機能を使た遊びや運動機能を働かせる遊び、見立てあそび、ごっこ遊びを通じて、徐々に社会性の発達を支援						○			
		④一人遊びから共同遊びへの支援	周囲に子どもがいても無関心である一人遊び状態から、並行遊びを行い、大人の介入による連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ共同遊び等による、社会性の向上支援	○			○	○	○	○		
		⑤自己理解とコントロールの支援	自分のできること、できないことなど、自分の行動を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるよう支援	○	○	○	○	○	○	○		
		⑥集団への参加への支援	手順やルールを理解し、遊びや集団活動への参加の支援	○	○	○	○	○	○	○	○	